

みずほCustomer Desk Report 2017/01/11 号(As of 2017/01/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	116.01 AUD/USD
TKY 9:00AM	115.99	1.0585	122.79	1.0142	1.2173	0.7360
SYD-NY High	116.35	1.0628	122.93	1.0178	1.2190	0.7385
SYD-NY Low	115.20	1.0551	122.12	1.0111	1.2107	0.7331
NY 5:00 PM	115.78	1.0554	122.18	1.0167	1.2175	0.7370
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.765/13.49	△25RR	0.893	Yen Call Over		

NY DOW	19,855.53	▲ 31.85	債券市場	日本2年債	-0.2490	▲4.5bp
NASDAQ	5,551.82	20.00		日本10年債	0.0640	0.5bp
S&P	2,268.90	0.00		米国2年債	1.1855	0.4bp
日経平均	19,301.44	▲ 152.89		米国5年債	1.8759	0.3bp
TOPIX	1,542.31	▲ 11.01		米国10年債	2.3757	1.1bp
シカゴ日経先物	19,375	▲100.00		独10年債	0.2850	0.7bp
ロンドンFT	7,275.47	37.70	為替市況	英10年債	1.3620	2.7bp
DAX	11,583.30	19.31		豪10年債	2.7140	▲4.9bp
ハンセン指数	22,744.85	186.16		USD/CNH	6.9103	0.0306
上海総合	3,161.67	▲ 9.57	商品市況	ドルインデックス	102.02	0.09
USDJPY 3M Vol	12.75	▲0.01%		CRB指数	191.139	0.53
USDJPY 6M Vol	12.64	0.09%		NY金	1,187.60	2.70
EURJPY 3M Vol	11.15	▲0.19%		WTI	50.81	▲1.15
EURJPY 6M Vol	12.66	▲0.15%		Dubai Spot	52.91	▲1.03

東京	東京時間のドル円は115.99レベルでオープン。116円ちょうど付近で揉み合う展開が続く中、日経平均が前日比で一時プラス圏まで上昇したことを好感し、ドル円も一時116.21まで上昇。その後、週末のメイ英首相の発言を受けハードプレジデント懸念も意識される中、トランプ米次期大統領の記者会見も控えていることからイベント前のポジション調整の動きが強まり、ドル円は一時115.20まで下落。引けにかけては、本邦勢による実需筋やファンダメンタル勢によるドルの押し目買いの動きも散見され、ドル円は115.45レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間序盤はユーロポンドを中心にポンドが売られる展開となったものの、ユーロポンドは0.87台半ばで頭打ちとなり、0.87ちょうど付近まで反落。ユーロドルも連れ安となった事などを背景にドルは全般的に底堅い展開となり、ロンドン時間のドル円は115円台半ばから116円台前半まで上昇。朝方115.45レベルでオープンしたドル円は、116.20レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2152レベルでオープン。序盤のポンド売りで一時1.21ちょうど付近まで下落したものの、その後はポンド買戻しの流れを受け1.21台半ばまで値を戻し、1.2148レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	トランプ次期大統領の記者会見を11日(日本時間12日午前1時)に控え、ドル円は115円台前半から116円台前半の間で売り買いが交錯する方向感に乏しい値動きとなり、116.22レベルでNYオープン。朝方は米長期金利の上昇を受けて、ドル円は高値の116.35まで上昇。しかしその後、株式市場が軟調に寄り付くと115.45まで下落。ドル円は一時115.80まで反発する場面もあったが、短期筋を中心に再びドル売りが強まると115.29まで下落。午後にかけては、米長期金利が小幅反発したことや、寄り付き軟調であった米株がプラスに転じたこともありドル円は116.04まで上昇。引きにかけては、イベント前のポジション調整の動きが強まったことや、米株や原油価格も軟調推移したことから、ドル円は上値重く推移し、結局115.78レベルでクローズした。ユーロドルは1.0569レベルでNYオープン。朝方はドル売りが強まるとユーロドルは1.0605まで上昇。しかし1.06台ではユーロ売り意欲も強く1.0551まで反落し1.0554レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	豪	中	仏	仏	結果	予想
1月10日	9:30	小売売上高(前月比)	11月	0.2%	0.4%		
	10:30	CPI/PPI(前年比)	12月	2.1%/5.5%	2.2%/4.6%		
	16:45	鉱工業生産(前月比/前年比)	11月	2.2%/1.8%	0.6%/-0.2%		
	16:45	製造業生産(前月比/前年比)	11月	2.3%/1.4%	0.7%/-0.2%		

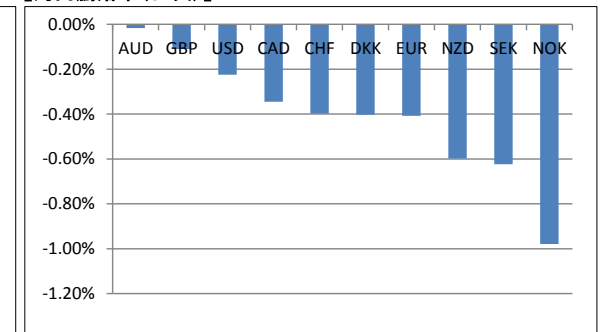
【本日の予定】

Date	Time	英	英	英	米	英	米	米	予想	前回
1月11日	18:30	鉱工業生産(前月比/前年比)	11月	1.0%/0.7%	-1.3%/-1.1%					
	18:30	製造業生産(前月比/前年比)	11月	0.5%/0.4%	-0.9%/-0.4%					
	18:30	貿易収支	11月	-£3,500M	-£1,971M					
	21:00	MBA住宅ローン申請件数	-	-	-0.1%					
	23:15	カーニーBOE総裁・議会証言	-	-	-					
1月12日	1:00	トランプ次期大統領・記者会見	-	-	-					
	3:20	ダロリー・ニューヨーク連銀総裁講演	-	-	-					

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-116.50	1.0450-1.0700	121.00-123.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は、トランプ米次期大統領の記者会見を翌日に控え、やや材料難の中、動意に乏しい展開となった。115円台後半で推移していたドル円は、北米時間に入り米長期金利の上昇などを背景に一時116円台前半まで上昇。その後は、米株や原油価格が軟調推移する中、ドル円は上値の重い様子を感じさせ、115円台後半まで値を戻し海外市場に渡った。本日のドル円相場は、基本的には上値の重い展開を予想するも、トランプ氏の発言に振られる展開には注意したい。トランプ氏会見に注目が集まる中、ドル高牽制を示唆する発言があればドル売り優勢の展開から、ドル円は下落するだろう。会見が無難な内容となっても同氏の掲げる政策への期待感については既に織込み済みであり、上値は限定的であると予想する。